

椿だより

第5号 平成28年 秋号

社会福祉法人 宗得会

横須賀市太田和2-3-21

Tel : 046-857-9598

Fax : 046-857-9894



米寿のお祝い

平成28年 敬老会



ご利用者、ご家族と一緒に昼食をとりながら敬老のお祝いをしました。

ご利用者の歌や朗読、ご家族からの歌のプレゼント、ボランティアの方や職員からは、歌、踊りの出し物があり、和やかな雰囲気の中みなさん過ごされました。



デザート
バイキング



認知症ケアは、介護保険の施行により当事者側に立ったケアへと大きく方向転換することになったのは周知のとおりである。しかし、認知症に対する社会の偏見はガンなどの疾患に比較するとまだまだ根深く、認知症の人は何も分からない、人格が変わってしまったなどの先入観から奇異な目で見られる人も多い。このような社会の偏見を変えようと思いを抱いた介護関係者などが立ち上がり、介護保険制度を活用して小規模なデイサービスを開設し、認知症の方を積極的に受け入れ、理想のケアを行おうと考えた。そして、認知症による記名力や状況判断力などの低下に起因する徘徊や暴力などの周辺症状を適切な環境作りと関わり方で支援した。今、振り返って考えれば彼らの行動は認知症ケアにおけるイノベーション(技術革新)だったと言える。ただ、残念なことに、その後も認知症に対する偏見は消えることなかった。それは、家族にも当事者の中にも色濃く残っており、近所の人に知られたら何を言われるか分からない、精神異常者というレッテルをはられて厄介者扱いにされる? と、悲観的に捉えている人の方がまだ多かったということである。

グループホームでは、認知症の人が重度になってコミュ

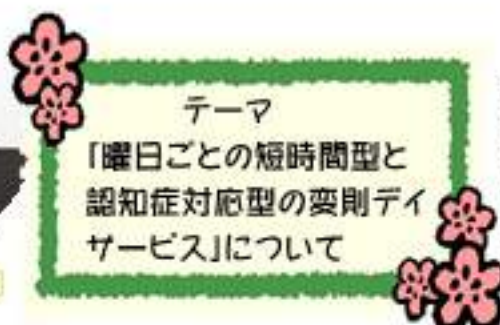
ニケーションが取れなくなっても、その人のして欲しいこと嫌なことなど想像を巡らして関わるようにしている。「どうしてそんなことがわかるのか?」と言われるかもしれないが(細かい説明は次号以降にするとして)、認知症状が出る前又は軽度の時の情報を沢山収集して、それを現在と照らし合わせながら活用している。その人らしさを知る手立ては沢山あるかもしれないが、それを見つけ出すことは至難の技である。人は、自分のおかれている立場や環境によって変わる。例えば、家族の前の自分と会社とでは異なる自分がいるだろうし、好きな人や嫌いな人の前などでも様々にその人らしさが変化する。認知症ケアは、正にその変化への対応が求められる仕事であり、その人らしさが生活習慣や様式に重点が置かれるなら、それはその人の精神安定の拠り所として必要なこととして対応しなければならない。徘徊や弄便(便をいじる行為)などは、その人の生活習慣や思いを理解していれば、声掛けする人の声も相手が受け入れやすい声色に変わってくるはずである。認知症を取り巻く状況は、良い方向へ向かっているとはいえ、まだまだ認知症の人がどこでも安心して自分らしく生きられる状況ではない。これからも認知症ケアは、新オレンジプランを中心に深化していかなければならないと思っている。

デイサービスセンター椿

第52回 関東ブロック老人福祉施設研究総会で発表しました



発表者:折田・鶴ヶ谷



テーマ
「曜日ごとの短時間型と
認知症対応型の変則デ
イサービス」について

神奈川県高齢者福祉施設協議会に推薦していただき、さいたま市ソニックシティで発表してきました。

「伝えたいことをしっかり伝えよう」と準備しましたが、山梨県や新潟県の施設も参加するような大きな研究総会で、会場も広く立派だったため、周りを見る余裕もないくらいに緊張してしまいました。

取り組んできた事や
今回の発表の経験を
今後にかかしていけ
るよう頑張ります!



10月2日、毎年恒例の「福祉バザール」がJAよこすか葉山本店集荷場で行なわれました。「福祉バザール」は武山地区の福祉施設・地域団体等による地域交流を目的としたイベントです。

梅園は近隣の方やご利用者のご家族から寄附していただいた物品のバザー、デイサービスセンター椿はご利用者手作りのマスコット、パッチワークボランティアさんはパッチワークのカバーを販売しました。



ご協力いただきまして
ありがとうございました。



盆踊り大会



いいね!がっぱい
つばきの夏

夏祭り/金魚すくい対決



椿園テイサービス

VS



テイサービスセンター椿

武山駐屯地花火大会



屋上は花火見物の特等席



グループホームのアリーナ席?!

いいね!



太田和秋季祭礼



獅子舞
いいね!



いいね!

はい、つばき園居宅介護支援センターです



最近...

家のおばあちゃん、お料理が作れなくなった。
お風呂やトイレに一人で入れなくなった。
お隣のおじいちゃん、お尋い物について毎に迷っちゃったんだって。

いままで当たり前前にできていたことができなくなったり、だれかの手助けが必要となった時、介護保険サービスについての相談を試みてはどうでしょうか?

要介護(要支援)認定の申請をします



認定調査が行われます



審査・判定されます



審査結果にもとづいて認定結果が通知されます

介護サービスを利用するためには、左の図のような段階を経た介護認定が必要です。要介護認定の申請は市役所介護保険課へ提出しますが、居宅介護支援センターが提出代行することもできます。

居宅介護支援センターのケアマネージャーは、要介護1以上と認定された人に、生活しやすい方法をアドバイスするプロです。どんなサービスがあれば、その人らしく自立にむけた生活を送ることができるかをご本人やご家族と一緒に考えて、ケアプランを作成します。

最近のおばあちゃんいつもとちがわない?と気付いたら、悩んでいないでつばき園居宅介護支援センターにご相談下さい。

訪問介護?



デイサービス?

つばき園居宅介護支援センター
857 - 1371

西第一地域包括支援センター

『詐欺にだまされないために！』

地域の皆様の権利を守り被害の相談窓口になることも包括支援センターの仕事です。そこで10月25日に「消費者被害講座」を開きました。ここで皆さんに問題です。○か×で教えてください。



- ①訪問販売で布団をすすめられ、断りたいので「けっこうです」と言った。
- ②廃品回収業者が来て「無料」と言うので冷蔵庫を出したが、積み込み料を請求され支払った。

答はこちら



- ① 答は×です。本当に断りたい時は「いいです」や「けっこうです」ではダメです。「いりません」「お断りします」とはっきり言いましょう。
- ② 答は×です。積み込み料などがかかる時は、事前に説明する事が必要です。払う必要はありません。



「私は絶対だまされない!」と思っている人ほど危ないそうです。皆さんも気をつけましょう。

行事予定

- 11月 紅葉外出・みかん狩り
- 12月 イルミネーション見学
クリスマス会・餅つき
- 1月 新年祝賀会・初詣外出
- 2月 節分
- 3月 ひな祭り・お花見

編集後記

ウォーキングを始めて早、半年になります。以前より肩こり、腰痛が楽になった気がします。しかし、コンビニに寄る機会が増え、つい甘いものに手が…。食欲の秋です。甘いものの誘惑に負けないよう、お互い頑張りましょう。(椿姫M)

作品紹介

特養入所中の山元千代子さん100歳です。趣味は詩吟、書道、裁縫とお元気に過ごされています。それと週3回のリハビリ運動も欠かしません。娘さんたちの面会も楽しみです。今回は山元さんの作品をご紹介します。



敬老会で詩吟を披露



詩吟は八段の腕前

着ている羽織は昔、今は亡き娘さんから貰った横浜スカーフを縫い合せて作ったものです。とても大切にしています。



書道は97歳から始めました



表札も作りました



娘さんと仲良くお食事



100歳

市よりお祝いを頂きました

H28年12月

宗得会のホームページが新しくなります。情報満載ですので、ぜひご覧ください。
<http://soutokukai.com>